

## 平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	海野宿にぎわいづくり事業
事業主体 (連絡先)	海野宿保存会 会長 宮下 知茂 東御市本海野 1098 (海野宿歴史民族資料館)
事業区分	(5) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,552,467 円 (うち支援金 : 1,089,000 円)

### 事業内容

#### ■クラシック演奏の夕べ

毎年開催している「にぎわい夏祭り」のフィナーレイベントとして以下のイベントを開催しました。地元や市内市外の子どもから高齢者まで多くの方に楽しんでいただけました。

特に、東京フィルハーモニー交響楽団メンバーによる弦楽四重奏の演奏は、昼間に子どもの部、夕方からは大人の部の2回開催しましたが、どちらも満席で、演奏を聴いた方皆さんから「素晴らしかった」等の好評価を得られました。

#### 【にぎわい夏祭り】

フィナーレイベント

「夏の終わりに楽しむクラシックコンサートと花火の集い」

開催時期：平成28年8月27日(土)

開催場所：海野宿(東御市本海野)

- ① にぎわい市(一坪市)フリーマーケット
- ② 子どもたちの東京フィルハーモニー鑑賞
- ③ 大人の東京フィルハーモニーコンサート

#### 【海野宿 ふうりんによる装飾】

7月初旬から9月中旬にかけて、海野宿内の建物の軒先に風鈴を飾りつけました。

#### 【灯籠の設置】

海野宿歩道に灯籠57個並べ夕暮れのおもてなしを演出。

#### ■ひな祭りの活動

文化を継承するひとつとして、各家の海野格子越しにひな人形を飾り、おもてなしと早春の海野宿も楽しんでいただけるひな祭りを開催した。

開催期間：平成29年2月25日(土)～3月20日(月・祝)

(歓迎イベント：3月19日(日)～3月20日(月・祝))

開催場所：海野宿(東御市本海野)

#### 【通常イベント】

- ・市内からひな人形の提供を募り、海野宿全域で海野格子越しにひな人形を展示。

#### 【歓迎イベント】

- ① 来宿者へ甘酒・あられの振る舞い
- ② 一坪市(フリーマーケット)の開催

### クラシック演奏の夕べ



### ひな祭りの活動



③ 流しびな

- ・周知のための案内ポスターの作成及び掲示
- ・会場案内のためのマップを作成し何カ所かに配置
- ・その他、各メディアにPR・取材の依頼を行い、魅力発信を実施



**事業効果**

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

この事業を実践することにより、地域の人々に海野宿の美しさや素晴らしさ、あるいは観光的な可能性を再認識してもらうことができた。また今後の、活かす取組を行う住民の増加や、地域の活性化に繋げることができた。



○数値的な事業効果

クラシック演奏の夕べ来場者数

子ども 25 人 + 大人 116 人 = 合計 141 人 (チケット販売数より算出)

ひな祭りNHK放映後 (3月4日 (土)・5日 (日))

4日 (土) 1,000 人 + 5日 (日) = 合計 2,000 人

ひな祭り歓迎イベント期間中 (3月19日 (日) ~ 20日 (月・祝))

合計 1,400 人

年間来訪者数 (海野宿)

H24	H25	H26	H27	H28
209,400	202,800	194,400	246,100	288,500
人	人	人	人	人

**【目標・ねらい】**

- ① 地域住民の一体感及び地域づくりの意識の醸成
- ② 海野宿を訪れる観光客の増加

**※自己評価【 A 】**

**【理由】**

- ・メディア等にも取上げられ認知度が上がり観光客の増加につながった。
- ・幅広い年代が参加した事業となった。

**今後の取り組み**

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今年度で3回目の開催となったひな祭りは、海野宿の一大イベントとして、定着してきており、今年も大勢の地元住民の協力のもと開催することができた。

また、TVや新聞等のメディアにも取り上げられ外部への認知度も上がっている。

今後は、「重要伝統的建造物群保存地区」である海野宿の伝統を守ると共に、夏の「にぎわい祭り」、秋の「ふれあい祭り」、春の「ひな祭り」といったイベント活動や、空き家等の活用活動を通し、外部からの観光客を呼び込み新たな海野宿を築いていきたい。

2025年には、海野宿開設400年を迎える。みんなが一体となれるキーワード「400年を華やかに」を目指し、海野宿保存の機運を住民として高め、これからも魅せる地域、訪れて楽しめる地域づくりとしたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある